

- 腫瘍内科を開設しました
- 心臓血管外科手術実績が全国14位にランクイン
- 皮膚科領域の先進医療紹介
- 外来棟・中央診療棟の改修について

腫瘍内科を開設しました



醍醐 弥太郎

受診される皆様が最良の医療を受けられるよう、安心と信頼の医療の実践に全力を尽くしてまいります。

腫瘍内科 診療科長 醍醐 弥太郎

▶ 診療方針

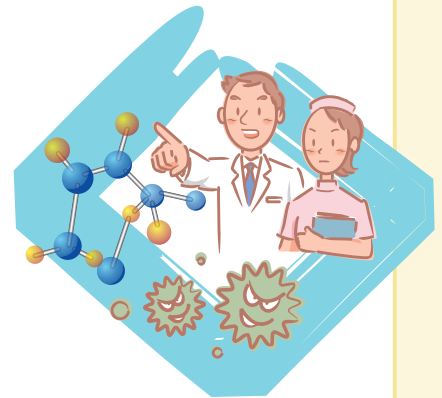
腫瘍内科は、最新のがん薬物療法を実施し、高度がん医療を担う内科系診療科として、平成21年10月20日に開設されました。

私たちは、高い水準のがん医療の提供と先進医療の開発を通じて、がん患者さんに治療効果、安全性、生活の質（QOL）の面で最適の治療を提供することを目的に診療を行っています。

▶ 診療の特色

当科では、腫瘍内科医によるがんに対する最新の標準薬物療法を基本に、新しい分子標的療法や免疫療法を開発・展開するとともに、オーダーメイド医療*を推進していきます。また、がん治療に関わる専門診療科と連携して、がん患者さんのQOLの維持を含めた総合的がん医療に取り組んでまいります。

現在は、既存の標準がん治療に応えなくなった肺がん患者さんや悪性腫瘍の患者さんを対象に、がんペプチドワクチンを用いた新しい分子・免疫療法等の開発を進めています。



▶ メッセージ

今日のがん医療においては、病気の進行段階に適切に対応した個別化医療と専門家チームによる総合的医療が求められていますが、わが国ではこれらを担う臓器横断的ながんマネジメントができる腫瘍内科医が不足しております。また、標準がん治療に応えられない患者さんは新しい治療法を求め、「がん難民」という社会的問題が生じています。

私たちは高い倫理性と科学性に基づいた新しいがん医療の開発と人材育成を推進することによって、このような患者さんへ医療を提供することも大きな課題の一つと考えております。今後ともご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

※オーダーメイド医療：新規の分子診断法に基づいたがんの個性診断により、薬物療法開始前にその効果を予測し、最適ながん治療を患者さんに提供する個別化医療です。

心臓血管外科手術実績が全国14位に ランクイン

心臓血管外科

雑誌PRESIDENT 2010年1.4号の特集記事“最新治療データ&独自調査で判定！これが病気別「全国4000病院」実力ランキングだ”内の「心臓病（心臓外科手術）のベスト50」において、**本院心臓血管外科の手術実績が全国14位にランクイン**しました。

— 心臓血管外科 浅井教授より —

PRESIDENT誌の心臓外科手術ランキングにおいて、大都市の高名な専門施設に交じって、本院の実績が紹介されました。



浅井 徹

好きな言葉は「一期一会」です。

本院では、私が着任した8年前から、もっぱら成人心臓血管手術を行ってきましたが、滋賀県内外から多くの患者さんをご紹介いただき、今では成人心臓手術の分野で全国立大学中第1位の症例実績を上げるまでになりました。

心臓手術は大切な命を守り、心臓血管外科だけでなく麻酔科、救急・集中治療部、循環器内科等、病院をあげてサポートいただかなければ安心できる高い成績をおさめることができない分野です。



昨年秋には病院再開発により、新しい近代的な手術室が整備され、私たちの外科治療の手術の数も質もさらに上昇しています。

◀ 新手術室での執刀の様子

雑誌のランキングで紹介いただいたことは光栄ではありますが、これはあくまで通過点であり、一人ひとりの患者さんに全国のどの病院よりも安心できる治療を受けていただけるようスタッフ一同、力を合わせて診療にあたりたいと思います。

皮膚科領域の先進医療紹介

皮膚科



先進医療とは、一種の混合医療で、今は自己負担（自費）でしか受けることができませんが、安全性・効果がきちんと評価され、かつ、その技術を持つ施設が多くなれば、保険医療に組み込まれる医療技術です。

平成21年度現在、当科が認定されている先進医療は2つあり、1つは「悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索」、もう1つは「隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断」です。両方とも、悪性腫瘍の診断に必要な技術です。

◎悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定及び転移の検索

平成21年12月に承認を受けた先進医療ですが、先ほど述べたように、安全であり効果がある、また、この技術が国内に普及した等の理由で、平成22年度からは保険医療となる予定です。



◎隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断

「隆起性皮膚線維肉腫」とは、皮膚の線維芽細胞が悪性（癌化）したものです。しかし、見ただけでは、悪性なのか、良性なのか区別が難しい場合があります。

そこで、この肉腫（腫瘍）からRNA（リボ核酸）を採取し、そのなかに、融合蛋白を作るRNAがあるかどうかを調べる検査をします。正常細胞では、コラーゲンの遺伝子とPDGF（血小板由来増殖因子）の遺伝子が遺伝子融合を起こしています。そのため、これを調べることによって、より正確な診断ができるのです。これを遺伝子診断と云います。

具体的には、腫瘍の一部を切り取って顕微鏡で検査をするのですが、その切り取った腫瘍の一部を用いて遺伝子診断を行います。



結果が悪ければ、悪性腫瘍ですから根治的な外科的手術を行います。この腫瘍は、広い範囲・深い深さで取りきることが必要です。

皮下の硬いしこり、盛り上がった腫瘤など、「隆起性皮膚線維肉腫」が疑われる時は、遺伝子診断ができますので、是非当科へご相談下さい。

滋賀医科大学医学部附属病院 皮膚科
TEL. 077-548-2565

外来棟・中央診療棟の改修について

病院再開発推進室

外来仮設診療ブースについて

現在、本院では病院再開発の一環として、外来棟及び中央診療棟の改修工事を順次行っており、改修工事中の診療科は、病院2階中央エレベータ西側（栄養治療部横）に設置した外来仮設診療ブースでの診療となります。

仮設診療ブースは診察室・待合スペース等が狭く、みなさまには何かとご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

平成22年5月頃に、現在のリハビリテーション科・部は、旧材料部跡地（現在工事中）に移転します。

移転後のリハビリテーション科・部跡地は平成22年9月から仮設診療ブースとして使用します。

脳神経センターの改修工事完了

外来改修工事の第一弾である脳神経センター（精神科神経科、脳神経外科、神経内科）の改修工事が完了し、平成22年2月27日には仮設診療ブースから病院1階の元の場所へ移転を行いました。改修により、診察室を増やすとともに（10→14室）、患者さんのプライバシーへの配慮、アメニティの改善を図り、より満足していただける診療環境整備に努めました。



外来仮設診療ブースでの診療

済	～2月27日	脳神経センター
	3月6日～5月29日	歯科口腔外科
	5月30日～8月28日	整形外科



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

●理念を実現するための基本方針

- 患者さん本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します

滋賀医大病院ニュース第26号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL: 077(548)2012(企画調整室)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。